



2018年8月8日
第3号

第68回 日本医学検査学会 実行委員会 発行
この新聞は2019年5月18〜19日に下関で
開催される、第68回日本医学検査学会について
の情報発信を目的としています。

HP: <http://68jamt.com/> facebook: JAMT68

学会ポスターの変遷

学会ポスターは見ましたか？あれも簡単に決まったわけではありません。ポツになったものもあります。その一部をご覧に入れます。紹介できなかったポスター達、ごめんよ…。



↑最終的に決定した学会ポスター。「維新」の書体や色、観光名所などの写真サイズにもこだわった。



↑大人の雰囲気である程度好評だったが暗いとポツに。全体的配置バランスは引き継がれた。



↑青みが強く、名物などの写真が大きすぎるとポツに。上下の金色(?)が豪華な感じがする。

あのひとに聞く! (渋田学会会長編)

実行委員の一人にスポットを当て、その人なりに迫るコーナー。

今回は渋田秀美学会長、第1弾!

安岡「早速ですが、小中学校での思い出を。」
渋田「秀美って名前であまり凄く苦労してね。小学校のクラス分けで女子に入れられなかったんよ。」

未だに年に一回くらい間違われるし、全国学会のお手伝いに行ったとき、女子の雑魚寝部屋に割り当てられてたこともあった。」
安「山口臨技役員経験が21年と長いですね」
渋「その前に部門長を3期やって役員になったから、27歳から技師会に関わったからね。」
安「応援団なのに甲子園に行かなかったというのは何かあったんですか。」

渋「高校3年の夏、授業も出ずに予選の1回戦から応援団として行ったのに、甲子園が決まっていざ抽選したら、試合日が『石野真子のさよならコンサートの日じゃ』って(笑)」
安「石野真子の親衛隊に入ってたそうですね。」

渋「高校生になる頃に入ってね。九州全体の親衛隊やったんやけど、副統制長とか福岡県の特攻隊長とかしたよ。特攻隊長といってもライブ後の出待しとる暴走族捕まえたり。事務所公認やから、石野真子が現地に入ったら2、3時間一緒に遊ばせてくれるんよ。」
安「となると、石野真子は青春そのものですね。」

渋「当時、俺の部屋はポスターで埋め尽くされたもんね。今もファンクラブ入ったよ。」
安「中学校に野球部がなかったそうですね。」
渋「もしあったら中学、高校と野球部に入って、甲子園に行っとったかもしれん。」
安「そしたら『さよならコンサート』には?」
渋「さすがに甲子園に行っとるやろね(笑)」

次号も、あのひとに聞く!

渋田学会会長第2弾! ヤンチャから真面目に急転換? 感動秘話です。乞ご期待!

今号のひとひと

ここ数年、夏になると思うことは、「クーラーって偉大だ」ということです。無い生活を想像すると、げっそりしますよね。(安岡)